

2023年5月12日

各位

会社名 ニッコー株式会社
代表者名 代表取締役社長 三谷 明子
(コード番号 5343 名証メイン)
問合せ先 取締役サービス本部長 布川 一哉
(TEL. 076-276-2121)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績につきまして、前期実績値(2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日))との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

記

1. 2023年3月期通期連結業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2022年3月期)	12,577	△174	△62	△85	△3円68銭
当期実績値(B) (2023年3月期)	13,992	△210	△169	△177	△7円61銭
増減額(B-A)	1,414	△36	△106	△91	
増減率(%)	11.2	—	—	—	

2. 差異の理由

売上高は、主に次の理由により、前期実績値を上回りました。

住設環境機器事業においては、大型・中型浄化槽の大型物件の工事進捗、バンクチュール®(システムバスルーム)の住宅・非住宅における売上高の拡大等、機能性セラミック商品事業においては、OA機器用基板の受注やシャイングレーズ®(グレーズ基板)の新製品受注が活況であったことによる売上高の拡大等、陶磁器事業においては、北米地区での案件が堅調に伸びたこと等により、全てのセグメントにおいて増収となりました。

営業利益は、原材料、工事原価の高騰に加え、電力費、燃料費の高騰の影響を大きく受け、前期実績値を下回り、赤字幅が拡大しました。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の利益減少要因により、前期実績値を下回り、赤字幅が拡大しました。

以上